令和元年度森林環境譲与税に関する決算表

（ⅰ）団体コード	（ⅱ）都道府県名	（ⅲ）市町村名	（ⅳ）事業区分	（ⅴ）事業名	（ⅵ）事業総額（千円）			（ⅶ）当年度基金への積立額（千円）	（ⅷ）事業内容	（ⅸ）針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	（ⅹ）実績															（タ）その他	（xi）税導入の効果
											森林整備関係							人材育成・担い手確保対策				普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				
					(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）				（ア）意向調査実施面積(ha)	間伐等実施面積			路網整備			（ク）その他	（ケ）事業体等への助成		（コ）研修、講習、求人イベント等		（サ）その他	（シ）研修や普及啓発イベント等		（ス）その他	（セ）公共施設等の木材利用		（ソ）その他		
												（イ）間伐(ha)	（ウ）除伐(ha)	（エ）その他（作業種、実績値を記載）	（オ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（カ）森林作業道の開設延長(m)	（キ）その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)			
015466	北海道	清里町	② 意向調査	令和元年度における森林経営管理制度意向調査	246	246	0		森林の現況調査並びに森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査。		156																		【ワンフレーズ】 税活用により、 ・森林経営管理制度の意向調査を実施することができ、所有者不明森林の賦存状況が明らかになり、所有者35人の特定につながり、対象森林の今後の管理の方針を把握できた。 ・森林環境譲与税に係る研修会に参加することで、他市町村の活用方法などを参考にすることができ、今後の譲与税の町として活用方針を定めれた。 【詳細】 本町は、エゾシカの急激な増加により今後森林被害が増大する傾向があることから、本税をエゾシカ森林被害防止対策に活用することとして取り組んでいる。 結果、研修に参加しエゾシカの生態への理解を深め、森林被害を防止するために捕獲する際の罠の設置方法また誘因調査を行うなど、エゾシカ対策を行っていくうえでどのような対策を講じていくか参考になり、今後の譲与税を活用したエゾシカ対策を学べた。 残額は、町へ寄贈された土地・町営牧場など（５条心理に外の土地）への造林や、将来的に、私有林において間伐等が増加し森林整備事業への活用が必要となった場合、令和2年度のエゾシカ森林被害防止対策事業に使用するため、基金に積み立てた。
015466	北海道	清里町	⑫ その他（人材育成等）	森林環境譲与税の研修会に係る旅費	62	62	0		森林環境譲与税を活用した森林整備等に関する業務を円滑に行うため、研修会に参加。 ・令和元年度　市町村林務担当者研修（11/8） ・令和元年度　市町村エゾシカ対策担当研修会（11/19） ※エゾシカの森林被害が今後増大すると見込み、生体把握の為参加。																参加人数（全体） 11/8　18人 11/19 35人					
015466	北海道	清里町	⑰ 基金積立（森林整備等）	森林環境譲与税基金積立事業	1,133	1,133	0	1,133	・５条森林以外の土地を森林に戻すための造林経費 ・将来的に、私有林において間伐等が増加し森林整備事業への活用が必要となった場合に備えた積立。 ・今後増大すると予想されるエゾシカの森林被害対策に備えた積立（R2年度実施）。																				